

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	博愛こども発達在宅支援クリニック 児童発達支援			
○保護者様評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月31日
○保護者様評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月8日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部や内部研修を受講する機会や法人内等で研修に参加できる機会が確保されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務調整を行い、研修参加の確保に努めている。</li> <li>・オンラインでの研修参加が行えるように環境を整えている。</li> <li>・年に1回以上の研修参加が確保できる職場環境に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した研修について共有できるように研修資料の閲覧をする。</li> <li>・内部研修の年間計画を立て職員が参加しやすい環境設定を行う。</li> </ul>
2	医療的ケア児の受け入れができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児受け入れに必要な看護師配置がある。</li> <li>・医師と連携が取れているため保護者様が安心して利用できる。</li> <li>・他職種による専門的な支援が受けられる。</li> <li>・利用の様子をSNS発信やKIDS通信、連絡ノートで伝えることで保護者様が安心して利用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的支援の充実を図る。</li> <li>・専門職としてのスキルアップや福祉サービスについての知識を深め家族を含めた支援が行えるように努める。</li> <li>・送迎時に保護者様と話す時間を作っているが、今後も寄り添った支援が行え、相談や助言が行えるよう努めたい。</li> </ul>
3	定期的なミーティングや会議により業務改善や支援の振り返りの場が確保されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回福祉ミーティングや事例検討会を行っている。</li> <li>・毎日支援の振り返りを行い電子カルテに記載している。</li> <li>・個別支援計画作成、見直しの際は担当者や支援者で会議を開き共通理解のもとで作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングや会議に参加できない職員がいるためミーティング時間の検討や議事録、電子カルテ記載内容の確認を徹底していく。</li> <li>・連絡ノートや電子カルテ連絡板の使用により伝達や連絡事項の共有を行う。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	もともとある施設で広い一室となっているため快適な生活空間の確保が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーの広い一室である。パーティションで区切ったり個室で対応している。</li> <li>・生活空間とオムツ交換の場が一緒になることがある。</li> <li>・活動スペースに座位保持装置やクッションチェア、医療機器があり安全確保が難しいことがある。</li> <li>・物を片づける場所がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活空間の確保に努め、現在の配置を検討する。</li> <li>・整理整頓に努める。</li> </ul>
2	マニュアルの保護者様周知が十分にできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会でマニュアルを策定し職員に周知しているが保護者様への周知が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもマニュアルの閲覧が出来るように配置しておく。</li> <li>・安全計画は年度はじめに保護者様へ説明、配布する。</li> <li>・定期的な訓練や感染情報についてはお便りや掲示での周知を継続していく。</li> <li>・非常災害時の保護者様LINE登録の呼びかけを継続していく。</li> </ul>
3	他との交流の機会が乏しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策の強化のため。</li> <li>・利用時間や曜日が異なり日程調整が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回保護者交流会開催を継続していく。</li> <li>・年2回保護者参加週間を行い活動の様子見学や保護者支援を継続していく。</li> <li>・今年度家族交流会開催予定でありきょうだい参加も予定している。</li> <li>・今後、感染対策を行いながら定期的に院内かかかも保育園との交流機会を作っていく。</li> <li>・交流できる場を把握し開拓していく。</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 博愛こども発達在宅支援クリニック 児童発達支援

公表日 2026年 2月 2日

5名

利用児童数

2025年 10月 1日 現在

回収数 5名 (100%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	80%	20%				・ご意見を真摯に受け止め改善に取り組んでいきます。専門性が発揮でき支援につなげて行けるように研修や情報共有していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20%	20%		40%	・無回答1名	・院内保育園との交流や散歩の際にお子様と関わる機会があります。感染対策の面から活動を一緒に行う機会は検討が必要ですが、地域でお子様と関わる機会の確保に努めていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	80%	20%				・支援計画見直しの際、面談を行っています。定期的な面談以外にもお話できる時間の確保に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	80%			20%		・安心して利用して頂けるように保護者様との信頼関係構築に努めてまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100%						

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80%			20%		・各マニュアルは策定していますが、保護者様への周知や説明が不十分のため再度徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	80%			20%	・一度も発生していないため	・事故や怪我等発生がないように細心の注意を払っています。契約の際、事故発生時の対応について説明しておりますが、発生した際には速やかに連絡や説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
博愛こども発達在宅支援クリニック 児童発達支援		2026年 2月 2日					
	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	91%	9%	・広いゆとりのあるスペースが確保され、活動によるスペースの工夫を行っています。 ・他の福祉サービス利用のお子様やバギー乗車のお子様もおられるため、バギーの位置やマット使用により調整しています。	・もともとある施設のため空間を上手く使用し対応していますが、長期休暇等利用人数が普段より多くなる場合、午睡スペースの確保やベッドの利用等必要なスペースの確保に努めてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		100%	0%	・職員の急な休みがなければ適切に満たされており、お子様に合わせ職員配置を行っています。 ・医療的ケア児を丁寧に見れるように看護師配置を適切に行っています。	・保育士配置はできていますが、医療的ケア児に必要な看護師配置が不足している現状です。 ・排泄介助や処置のタイミングが重なるとき一時的に人手が少ない時があるため職員間で情報共有し支援出来るように努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	91%	9%	・設備上幼児用トイレがありませんが、多目的トイレにマットを敷き、オマル設置や補助用幼児便座などお子様に合わせて環境調整しています。 ・バリアフリーで広々とした空間のためバギー移動のお子様には適切です。 ・車椅子やバギーの出入りがあるため清掃に心がけています。	・トイレまでの導線が遠い、洗面台がお子様を使用するには高い、柵や手すり等つかまり立ちできる箇所がない等設備上の問題がありますが、お子様に合わせて工夫し過ごしやすい環境を整えていきます。 ・医療的ケア児の受け入れがあり医療機器や座位保持装置やクッションチェア等が遊びや活動のスペースにあるため環境調整をしながら安全に過ごせるように努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	3	73%	27%	・毎朝、業者や職員で清掃を行っています。 ・活動スペースは広い一室であり、限られた環境で考えながら空間を作り、必要に応じてパーティション等で区切って活動しやすい空間を作っています。	・設備上床が冷たい、床が汚れやすい等あるため活動スペースにマットを敷き対応したり、日頃から清掃や整理整頓を行い、清潔で安全に過ごせる空間の確保に努めていきます。 ・オムツ交換の場所が生活空間と一緒にいることがあるためプライバシーや清潔面を考慮して検討していきたいです。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	91%	9%	・発達特性や体調面を考慮し状態に応じて、パーティションで区切った個室で対応しています。	・活動スペースに個室がないため、必要時同事業所内の個室を利用対応しています。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	91%	9%	・福祉ミーティングや事例検討を定期的(月に1回)に行い、福祉チーム中心に毎日振り返りを行っています。	・他の業務等によりミーティングや日々の振り返りに参加できない職員がおり、PDCAサイクルがきちんとまわされているかわからないと感じる職員がいるため参加できるように時間調整を行い、議事録や連絡ノート、電子カルテの連絡版活用により情報共有に努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		100%	0%	・モニタリング、面談を定期的に実施しています。 ・年に1回、保護者様に事業所評価や意向調査を実施し保護者様の意見を反映できるよう努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	82%	18%	・月1回の福祉ミーティングを実施しています。 ・年に1回の自己評価や年2回管理者との面談、日々のミーティング等で意見を把握できる機会を設け業務改善につなげています。	・福祉ミーティング等で意見等把握する機会を設けていますが、参加ができない職員は意見を把握する機会が少ない、改善につながっているかわからないと感じているため参加できるように業務調整をしていきたいです。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	9	9%	82%		・無回答1名 ・第三者による外部評価は受けていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		100%	0%	・研修の情報を提供したり、各自で積極的に研修参加し、研修報告を行い、全体のスキルアップに努めています。 ・外部研修に加え法人内必須研修もあり学びの場は確保されています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1	91%	9%	・支援プログラムを作成、HPで公表しており、職員間や保護者様に共有しています。	・どのように公表されているかわからない職員には再度周知していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		100%	0%	・担当者会議をしながら適切に行っています。 ・アセスメントシートや発達評価、事前アンケート、担当者会議やモニタリングを行い、計画作成、修正しています。	・作成までの過程を職員間で周知しアセスメントやニーズの把握に努めます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		100%	0%	・毎月福祉ミーティングでお子様の様子や課題について共有する時間を設けて支援計画に反映させています。 ・個別支援計画作成の際は事例検討会を行い、支援に関わる職員でお子様の姿の共通理解を図ったり多職種で意見交換をしています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		100%	0%	・本案を保護者様に説明、同意後全職員が支援計画の確認が出来るように回覧し、共有しています。 ・週のねらいや活動立案、電子カルテ記録は支援計画に沿って行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		100%	0%	・アセスメントツール(発達評価表等)を用いケース検討を行い、専門的に支援に関わるスタッフ(PTや保育士)が中心となりKIDSや遠城寺などのアセスメントツールを使い発達評価し支援しています。 ・日々の活動や保護者様との情報共有を通してアセスメントを行っています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインに明記された項目を踏まえながら、個々の強みを生かして課題に取り組みめるような支援内容を設定しています。</li> <li>・支援項目についてねらいを明確化した上で個々の目標に応じた具体的な支援内容を設定するようにしています。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士中心に活動プログラムの立案を行い、PT、Ns等の意見を取り入れています。</li> <li>・週1回翌週の計画を共有しています。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事や外出等いろいろな活動プログラムを取り入れ工夫しています。</li> <li>・週単位で色々な活動が出来るように工夫しています。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動の時間以外で必要に応じて個別活動として集中して課題に取り組む時間を設けています。</li> <li>・お子様に合った活動のねらいを立て、ねらいに応じて実施しています。</li> <li>・個別で伸ばしたい目標とは別で友達との関わりを増やしていく支援計画になっておりそれを基に支援を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用人数少ない、年齢の幅が広い等の中で集団活動の実施は難しいですが、同じ活動でも個々に合った方法で取り組めるように工夫しています。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼後役割分担について確認し、参加できない職員にもわかるように提示しています。</li> <li>・朝のミーティングでその日の活動と個々の支援目標を伝えチームで同じ方向で支援できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の都合上、全員揃っての打ち合わせまでできてませんが、参加できない職員にもわかるように提示されています。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、支援に関わった職員中心に、支援後振り返りミーティングの時間を設け、内容を記録しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了後の打ち合わせができていない時や参加が難しい職員へ共有することが難しいため、連絡ノートや電子カルテの連絡版の活用を徹底していきたいです。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援について毎日電子カルテ記録しています。</li> <li>・支援の振り返りを毎日行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の検証、改善につながっているかわからないと感じている職員には電子カルテ記録の確認やミーティングへの参加を積極的に促していきたいと思います。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的（6か月ごと又は必要に応じて）にモニタリング、児童発達支援計画の見直しを児発管、担当者中心に行っています。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管、担当保育士、担当看護師、PTが参加し情報共有しています。</li> <li>・オンライン等で工夫しながらより多くの職員が参画しています。</li> </ul>	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議参加や個々の状況に応じて関係機関と連絡をとり連携を図っています。</li> <li>・必要時主治医を交えてのカンファレンスや担当相談支援専門員や保健師、移行先の保育士見学、会議を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での情報共有も十分にいきながら、状況に応じた連携体制を整えていきたいです。</li> </ul>
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管、担当者中心に、移行支援会議参加や移行先の関係職員見学等も行っています。</li> <li>・移行先の保育園に訪問や見学等を行い、情報共有と相互理解に努め、スムーズな移行に向けて支援の検討を行っています。</li> </ul>	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	91%	9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要時担当者会議参加や見学等も行い、情報伝達しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は対象児童はいませんが、該当児童が在籍する際は努めていきたいです。</li> </ul>
	28	(28～30は、センターのみ回答)			0%	0%		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			0%	0%		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			0%	0%		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			0%	0%		
	31	(31は、事業所のみ回答)						
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	2	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター主催の研修会に参加し情報交換を図っています。</li> <li>・児童発達支援センターと同時通所している児に対しては連絡を取り合い助言をもらっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターとの連携は充分ではないが今後必要に応じて機会を設けたいです。</li> </ul>
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	45%	55%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育園と合同で活動する機会を作っています。また、近隣の公園等で関わる機会があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中となる体調に配慮が必要なお子様が多いのでさらなる工夫や検討が必要だと思えます。</li> </ul>	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の連絡ノートや送迎時に状況や課題について保護者に伝えるようにしています。</li> <li>・モニタリングの際に話す機会を設けています。</li> </ul>		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3	73%	27%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングは、同事業所で公認心理士と作業療法士が中心に行い、チラシやホームページで情報提供しています。</li> <li>・年に2回保護者参加週間を設け、活動の様子を見ていただき情報提供できる機会を設けています。</li> <li>・保護者交流会を開催しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会のお知らせ等の情報提供は行えてませんが事業所内にチラシを置き自由に閲覧出来るようにしています。</li> </ul>	

保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		100%	0%	・児発管が契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		100%	0%	・保護者様に対しての事前アンケート（意向や思い、計画に対する保護者評価等）やモニタリング、面談の際に意向を確認する機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		100%	0%	・原案を基に保護者様と面談し本案作成、児発管が本案を示しながら説明し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		100%	0%	・個別支援計画見直しのタイミングや随時相談に対し、時間を設けて面談ができるように努めています。 ・送迎時、連絡ノート、アンケート、保護者交流会、保護者参加週間等相談しやすい環境を整えています。	・モニタリングや面談で子育て等の悩みを相談する程の時間の確保ができていないため環境を整えていきたいです。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		100%	0%	・年に1回以上保護者交流会を行っています。 ・年に2回保護者参加週間を実施し他の保護者と関わる機会を作っています。 ・今年度はきょうだい児も参加できる家族交流会を企画しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		100%	0%	・連絡ノートや送迎時に話して頂きやすい雰囲気作りをし、必要時日程調整をして面談を行っています。 ・相談や申し入れに関する相談窓口を事業所内に整備し、相談や申し入れがある場合はできる限りの対応ができるように努めています。	・相談の申し入れがあったという経験がありません。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		100%	0%	・HPやSNS等で活動の様子等を発信（週1回のSNS更新）しています。 ・年4回キッズ通信で行っています。	・活動予定の周知が不十分だったため、毎月の活動計画についてお便りを配布していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		100%	0%	・契約時に個人情報公開の可否について確認し対応しています。 ・SNS更新時は2人以上のスタッフによりチェックを行いながら個人情報の流出に留意しています。 ・個人情報に関する研修を毎年行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		100%	0%	・連絡ノートを活用したり、個々に応じて丁寧な情報伝達ができるように努めています。 ・伝達方法としてスイッチ等を用いたり、表情や動き、モニター等細かく見るようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	36%	64%	・学生実習やJR米子職員との交流、マイトリーさんとの交流を継続的に行っています。 ・SNSで発信したり散歩の際挨拶等行っています。	・感染対策のため（感染リスクの高い児の受入が多い）地域住民の方を招待することはできませんが、今後検討していきたいと思っています。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	91%	9%	・定期的な（毎月）訓練を実施して職員の意識づけができるようにしています。 ・各委員会でもマニュアルを策定し、職員に周知しています。また、法人内の研修に加え適宜研修をしています。 ・保護者様にも避難訓練で安否確認のLINE登録、訓練を行っています。	・保護者様への周知が充分にできていないため今後検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		100%	0%	・BCPを策定し、毎月1回避難訓練実施やアクションカード読み合わせを行っています。 ・実際に想定した訓練を法人内全体で年2回行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		100%	0%	・看護師中心にお薬手帳の確認等を行い、健診の際予防接種の確認を行っています。 ・保護者様からの聞き取りや連絡ノートの記載で確認し、必要時診療情報提供書も依頼しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		100%	0%	・主治医の指示書に基づき対応しています。 ・利用前面談にて確認し、アレルギー対応マニュアルに沿って対応を行っています。	・医師の指示書把握が職員間で不十分のため徹底していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	4	64%	36%	・外出時の計画を立て緊急時の対応は確認できています。 ・医療安全委員会中心にマニュアルを整備し作成に努めます。	・安全計画については不十分な箇所について整備、修正して、今後研修や訓練を実施していきたいと思っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	3	73%	27%	・KIDS通信で避難訓練の毎月予定や様子をお伝えしています。保護者様へLINE登録の呼びかけを行っています。	・家族への周知が十分にできていないため周知方法について検討しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		100%	0%	・インシデント、ヒヤリハット事例は各職種で対策検討し、医療安全委員会や朝のミーティングにて報告、共有しています。 ・医療安全委員会を毎月開催しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		100%	0%	・法人内の必須研修参加や外部研修に参加し、虐待防止委員会にて研修会の発信しています。 ・虐待に関するアンケートやチェックリストを行い職員の意識づけをしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1	91%	9%	・身体拘束に関するマニュアルを職員に周知しています。 ・同法人内の動画視聴研修を受講しています。	・対象のお子様がいません。